

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス 笑くぼの島		公表日		令和8年 1月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		日頃から必要なもの以外、活動スペースに置かないよう気を付けています。	急に走り出す方もいるため、今後も安全の確保に努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		必要人数を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		室内はバリアフリー化されています。その日の日課や当番をホワイトボードで提示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		活動中に「掃除の時間」を取り入れています。児童に合わせて、活動場所を分けることもあります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		音楽を楽しみたい児童がいる場合は、個別の部屋を使用することを認めています。	個別の部屋を使用する際の安全対策も検討する必要があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		朝礼、昼礼時や帰りの送迎後に、話し合いの時間を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表等の意見を会議で全員で確認するようにしています。	今後も保護者の方の意見を職員全体で把握できる場（送迎時・面談時・評価表など）を活用します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員から意見が挙がった際は、すぐに職員間で検討するよう心掛けています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現在のところ、外部評価を受ける予定はございません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		安全計画に沿って実施しています。また、必要に応じて障がい特性に関する社内研修を実施しています。	外部研修も積極的に取り入れていきたいと考えています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページ上で公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心に計画作成を行っています。	今後も個々のニーズをしっかりと把握しながら計画作成を行っていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画作成の際には、必ず支援会議を開催し、共通理解を得るようにしています。	日々の支援の中でも共通理解を深めることで更なる利用者支援の改善を図ります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		それぞれの児童の個別支援計画を職員間でしっかり共有し、それに基づいた活動計画、記録を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の記録に、適応状況を記載しています。また、職員間で児童の支援に疑問、不安が生じた際はその都度、支援の振り返りを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5領域のアセスメントシートを基に、具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員それぞれが活動プログラムの立案を行い、持ち寄ったものをもとにひと月分の活動を計画しています。	今後も活動内容がマンネリ化しないよう配慮してまいります。

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		ひと月を通して、同じ内容の活動にならないよう心掛けています。	個別の活動にも力を入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		こどもの特性に応じて、必要と思われる活動を組み合わせせて計画を作成しています。	個々のニーズの発掘に力を入れていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼、昼礼時に、役割分担等を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日の振り返りを送迎終了後に行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		その日の内に記録を行い、適宜、児発管が確認を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度、または必要に応じて計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		ガイドラインに沿って可能な限り支援を行っています。	他事業所との連携を図るなどして、地域交流を進めていきたいと考えます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動や余暇時間の中で、意図的に自己決定を促しています。	色々な選択肢を提示できるよう工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管や児童指導員等が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		適宜、連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	必要に応じて、相談支援事業所から情報を得ています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	必要に応じて、相談支援事業所に情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		現在は児童発達支援センターと連携を図っていません。必要が生じた際は連携を図ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	現在は行えていません。	公園等に出かけたときに、触れ合う機会がありますが、計画的には行っていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	研修会がある場合に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		ご家族と話す機会を意図的に持っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	現在は行っていません。	アンケートを取るなどして、保護者のニーズ発掘を行ってきたいと考えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時や個別支援計画策定時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画を作成する際は、保護者だけではなく、児童からの意見も聞いています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		しっかり説明を行い、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		保護者会を設けていません。アンケートを実施し、交流の機会のニーズを確認します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情があった場合は、迅速に対応します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎日、活動の様子をSNSを使用して保護者に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取扱いには十分注意を測っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		特性に応じて対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		現在、地域との関わりはありませんが、地域との関わりを模索していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		安全計画に沿って実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年度ごとに計画の見直し、研修、訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時、面談時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	現在、アレルギーのある児童は在籍していません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		事業所の目立つ場所に掲示し、職員間で意識付けできるようにしています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		面談時にお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		月に1回、ヒヤリハット報告会を実施し、職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		適切に研修会を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	現在、身体拘束の必要な児童がいない為、個別支援計画には記載していません。研修を通して、必要な事例があることは職員間で共有できています。		